

# 法政大学 同窓会会報

社会学部同窓会

第24号

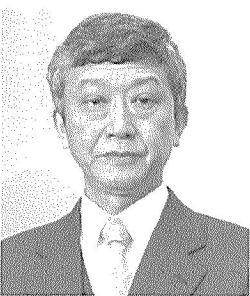
発行 法政大学  
社会学部同窓会事務局  
(月・水)

住所 〒194-0298  
東京都町田市相原町4342  
☎・FAX 042-783-2421

## 20周年迎えた多摩キャンパス

10月9日(土) 記念式典 10月31日(日) ホーム  
招待者 祝賀会 卒業生招待 カミングデー

移転20周年「」にあたって



社会学部長 船橋 晴俊

1984年に社会学部第一が多摩移転してから20年を経過した。多摩移転は、

改革は、法政大学の中でも、

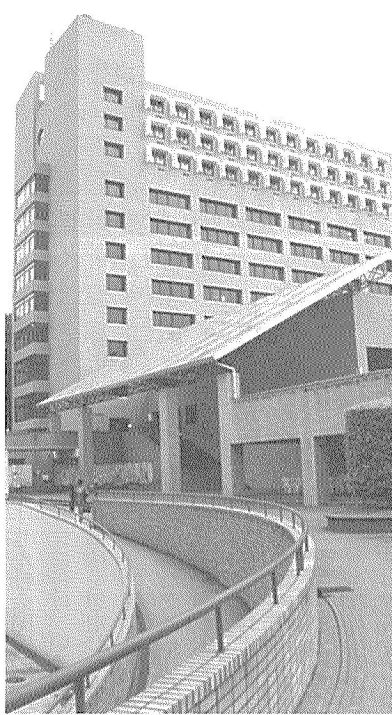
### 知的刺激と教育環境の整備 同窓会と学部との連携強化

社会学部専用棟の建設もと、4年間一貫教育を実現すると共に、5コース制の導入、全学年でのゼミ開講情報教育の飛躍的充実、外国語教育の改善などを盛り込んだカリキュラムの全面的改革を実現した。当時の社会学部のカリキュラム改革は、法政大学の中でも、

科の3学科体制を築くに至っている。これらの努力の積み重ねの中で、社会学部の社会的評価は着実に高まってきたと言えよう。だが、社会状況は激しく変化を続けており、大学教育の質的高度化は、これからますます厳しく問われる時代になっている。

2005年度にはメディアアソシエイトの完成年度を迎えるので、2006年度からは、学部内の準備を整え、さらに新しいカリキュラムに移行することが可能となる。2004年度4

全国的な社会学部系の諸学部の中でも、きわめて意欲的・先進的なものであった。その後、3回の大きなカリキュラム改革を実施し、現在では、社会政策科学科、社会学科、メディア社会学科、2004年度から、アソシエイトの完成年度を迎えるので、2006年度からは、学部内の準備を整え、さらに新しいカリキュラムに移行することが可能となる。2004年度4



11階建の社会学部A棟・4号館(後) 低層棟の社会学部B棟・5号館(前)

今年が多摩移転20周年を迎えて、多摩校舎の三学部は、幾つかの記念事業を企画している。卒業生の久しぶりの「帰郷」そして、これらの現役生との「交流」を主題とするホームカミングデーもその一つである。

3月8日の実行委員会では、確認されたそのあらまは以下の通りである。

まず、日程は、10月31日(日)、午後11時から午後6時。卒業生の皆さん

法政大学の多摩キャンパスが開校し、今年の4月に20周年を迎えます。当初社会学部、経済学部で始動しましたが、今日では現代福祉学部、大学院を加え3学部八千五百人を擁するキャンパスに成長。20周年記念事業も地域・社会への貢献を念頭に多様な催事が計画中です。

の学祭見学を勘案して、学生の多摩祭と同時並行でのスケジュールである。プログラムのメインは、社会学部、経済学部、現代福祉学部の合同での記念集会、各学部別のパーティ、ならびにゼミのOB・OG会を予定している。

さつ、記念講演、在校生のパフォーマンスで、これを午後1時から2時30分にかけて行い、学部別のパーティは午後3時30分から5時まで、そして午後5時から6時までが各学部

OB・OGのゼミ会という構成を企画している。動員の目標は、全体で約千人、社会学部の卒業生については、二百人から三百人を見込んでいる。多摩卒業生へ招待状を郵送することに加え、教授会と教員の協力をえてゼミを中核とする呼びかけを行う予定である。

プログラムの細部にについては、教授会の承認を経てから、追って報告するつもりである。一昨年の創設50周年記念の集いと同時、社会学部の同窓会の協力をお願いして、この祝日を成功させたいと願っている。(ホームカミングデー委員)

とが出来ないとしても、日々の生活の励みなり、素晴らしい人生の贈り物ともなり得ると思えます。法政大学社会学部は、現在、マスコミ関係の新しい学科を新設したり、以前とは隔世の感がある多くの女子学生の入学、大学格付け等における評価や注目度など、目を見張る躍進を続けています。法政大学社会学部が、ますます発展し、有為な後輩たちが社会のあらゆる分野で活躍するのは、大変嬉しいことです。

「学部棟なしに学部教育があるのか」と疑問に思っていた私は、社会学部の教員になってからは機会あるたびに「学部棟の建設」を主張していた。実は、多くの先生方が同じご意見であったようである。多摩移転によって「学部一貫教育」と「学部棟の建設」が実現することになった。二十年前のことである。学部棟の実現で私は「もう一つの法政大学」が生まれたことを実感した。「砂漠の法政大学よ、さようなら」である。

### 青春の思い出を 同窓会が「つなぐ」

鹿山 秀佳

「学部棟なしに学部教育があるのか」と疑問に思っていた私は、社会学部の教員になってからは機会あるたびに「学部棟の建設」を主張していた。実は、多くの先生方が同じご意見であったようである。多摩移転によって「学部一貫教育」と「学部棟の建設」が実現することになった。二十年前のことである。学部棟の実現で私は「もう一つの法政大学」が生まれたことを実感した。「砂漠の法政大学よ、さようなら」である。

「学部棟なしに学部教育があるのか」と疑問に思っていた私は、社会学部の教員になってからは機会あるたびに「学部棟の建設」を主張していた。実は、多くの先生方が同じご意見であったようである。多摩移転によって「学部一貫教育」と「学部棟の建設」が実現することになった。二十年前のことである。学部棟の実現で私は「もう一つの法政大学」が生まれたことを実感した。「砂漠の法政大学よ、さようなら」である。

### 市ヶ谷キャンパスに集まろう！

社会学部同窓会は7月10日(土)に次の催物を開催します。話題のボアソナードタワーを仰ぐ、「55年館教職員食堂」において、定期総会を中心に開催しております。多数の方の参加をお待ちしております。

**第1部**  
2004年度社会学部同窓会定期総会  
2004年度定期総会を会則第5条に基づき下記のとおり開催します。  
社会学部同窓会会長 森田忠男  
日時：7月10日(土) 午後1時～2時  
場所：55年館教職員食堂  
議題：①2003年度事業・活動報告、収支決算承認の件  
②2004年度事業・活動計画、収支予算(案)承認の件  
③同窓会会則改正承認の件  
④役員改正承認の件  
⑤その他

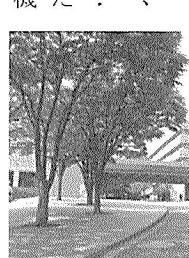
**第2部**  
定期総会・記念特別講演会  
記譜法を持たない演奏者の音楽として誕生したブルースとジャズ。両者が半世紀ほどの間にレコードや放送メディアを通じて大衆音楽の音楽言語となりえた経緯を追跡しようとする音楽社会学。  
日時：7月10日(土) 午後2時～3時  
場所：55年館教職員食堂  
演奏：「大衆音楽における定形表現」  
講師：湯川新 社会学部教授

**第3部**  
社会学部卒業生の集い(懇親会)  
名誉教授、歴代学部長、教授陣の来賓も加わり、交流の輪を広げる懇親会を計画しています。現役学生の参加も期待。  
日時：7月10日(土) 午後3時～5時  
場所：55年館教職員食堂  
会費：5,000円  
申し込みは・・・社会学部同窓会事務局まで  
市ヶ谷キャンパス最寄駅  
JR総武・中央線「市ヶ谷駅」又は「飯田橋駅」下車徒歩10分

先行き不安や加齢による病

会員の皆様には、年金の

「払込取扱票」の寄附欄に



豊かに提供できるか、という

学部長として、貴重な経験

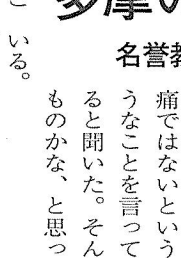
市ヶ谷開発が課題になり、



約50万円が集まりました。

同時に、同窓会をもっと

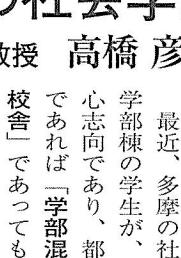
結果としてボアソナード・



約50万円が集まりました。

同時に、同窓会をもっと

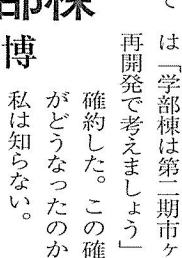
結果としてボアソナード・



約50万円が集まりました。

同時に、同窓会をもっと

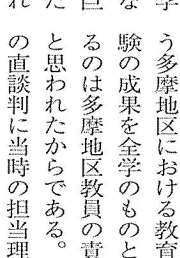
結果としてボアソナード・



約50万円が集まりました。

同時に、同窓会をもっと

結果としてボアソナード・



約50万円が集まりました。

同時に、同窓会をもっと

結果としてボアソナード・

